

若隆景V



大相撲春場所千秋楽の優勝決定戦で、高安(右)を上手出し投げて破り、初優勝を果たした新関脇若隆景(左)＝27日、エディオンアリーナ大阪

大相撲春場所

本県出身50年ぶり

大相撲春場所千秋楽は27日、エディオンアリーナ大阪(大阪市)で行われ、関脇若隆景(27)＝本名大波渥、福島市出身、荒汐部屋＝は優勝決定戦の末、初優勝を飾った。本県出身力士の優勝は1972(昭和47)年初場所の栃東(初代)以来、50年ぶり。

千秋楽の取組で、2敗で並ぶ若隆景と前頭7枚目の高安が敗れ、3敗の前頭6枚目の琴ノ若も敗れたため、3敗で並ぶ若隆景と高安による優勝決定戦となった。互いに初優勝の懸かる優勝決定戦の取組は、若隆景が高安を上手出し投げで下した。

若隆景は前頭筆頭で臨んだ先場所を勝ち越し、今場所は過去最高位の関脇に昇進した。新関脇での優勝は双葉山以来86年ぶり、1場所15日制となった49年夏場所以降では初の快挙。

若隆景は学法福島高、東洋大を経て荒汐部屋に入門。2017年春場所の三段目100枚目格付け出で初土俵を踏んだ。19年の九州場所での新入幕を果たし、初土俵から約2年7カ月のスピード出世で、戦後7人目の本県出身幕内力士となった。

賜杯への軌跡

【初日】突き落としとして玉鷲を破る



【14日目】寄り切りで貴景勝を破る



【5日目】豊昇龍を攻める



【12日目】琴ノ若を攻める。寄り切りで破る



【8日目】寄り切りで宇良竜を破る



【11日目】寄り切りで高安右を破る